

令和5年度 渡島教育研究所 研修講座

調査研究の説明

渡島教育研究所

令和5年7月27日



1 主題設定の理由

「指導と評価の一体化」

～ルーブリックを活用した授業改善～

2 研究の内容と構想

3 ルーブリックについて

こんな
「指導」と「評価」を
していませんか？

調査研究の説明

1 主題設定の理由

句読点が無い、
あらすじの説明だけで
2ページ半、自分の感想は「すごかったです」
だけ……
書き直しさせたい
けれど、今日で作文は
終わりだしなあ。

うーん
3ページもなあ。
頑張ったね。
でも、もうちょっと
くわしく書こうか。

先生、「思ったこと」を
ノート3ページ分も書きました！
すごいでしょ？

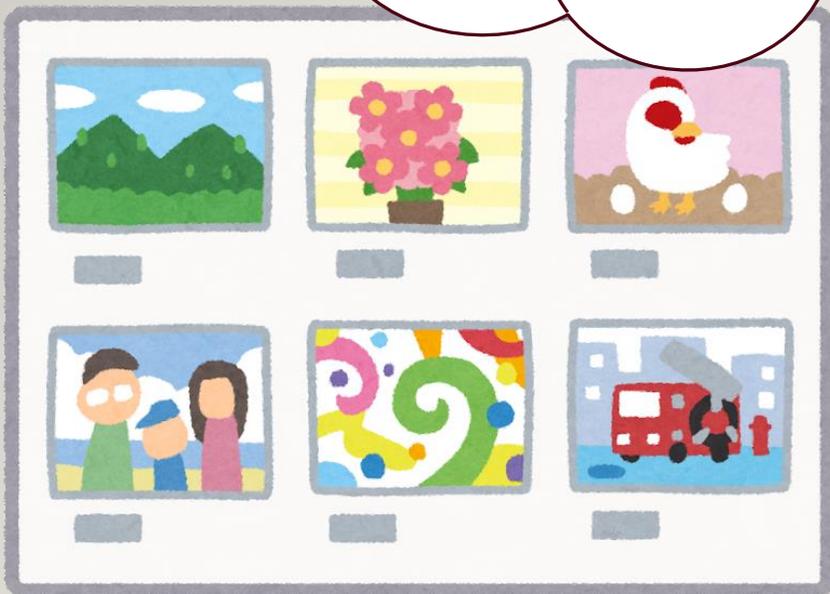
ぼく的には、
くわしく書いたけどなあ。
まあいっぱい
書いたから、
◎だよな！



調査研究の説明

1 主題設定の理由

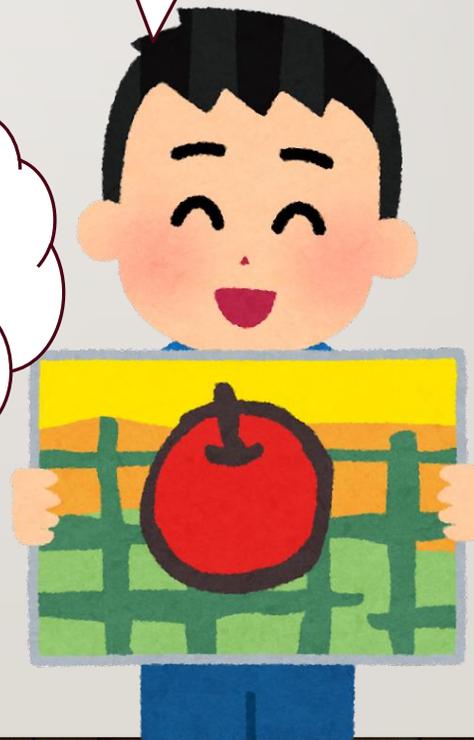
右上はうまいから知技A、
真ん中はそれと比べると
Bかな……
まじめに考えて
頑張っていたし、
思判表を
Aにしてあげようかな



そうか。
ぼくも次は、
たくさん描けば
◎だね。

リンゴを
三個描いたから、
先生が◎を
くれたんだよ！

! ?



こんな
「指導」と「評価」を
していませんか？

学習評価の改善の基本的な方向性

- ① 児童生徒の学習改善につながるものにしていくこと
- ② 教師の指導改善につながるものにしていくこと
- ③ これまで慣行として行われてきたことでも、必要性・妥当性が認められないものは見直していくこと

調査研究の説明

1 主題設定の理由

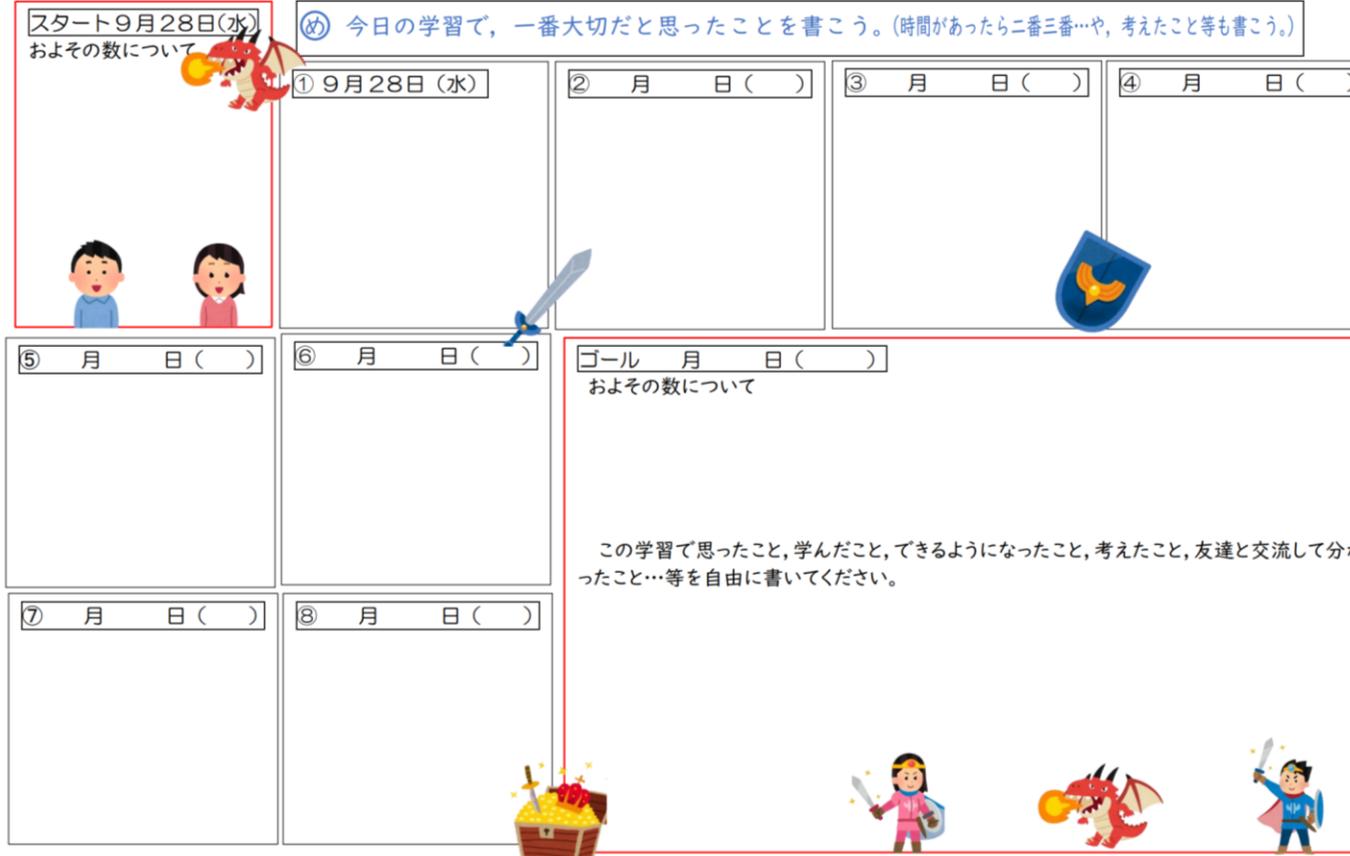
OPPA ~One Page Portfolio Assessment~ を用いた学習評価

およその数の表し方 振り返りシート 4年 組 番 名前 _____

スタート9月28日(水)
およその数について

④ 今日の学習で、一番大切だと思ったことを書こう。(時間があったら二番三番...や、考えたこと等も書こう。)

① 9月28日(水)	② 月 日()	③ 月 日()	④ 月 日()
⑤ 月 日()	⑥ 月 日()	ゴール 月 日() およその数について	
⑦ 月 日()	⑧ 月 日()	この学習で思ったこと、学んだこと、できるようになったこと、考えたこと、友達と交流して分かったこと...等を自由に書いてください。	



OPPA ～One Page Portfolio Assessment～ を用いた学習評価

- そのまま評価資料になるツールとして「OPPA」は非常に有効であり、実際に活用することによって、そのデメリットも明確になった。
- 取り組みやすい。→業務改善も意識しながら、評価資料を蓄積することができた。
 - ・ シートの元になる項目が、「単元を貫く目標」や「必要時間」等なので、作成においてこれまでの授業づくりに加えて過度な時間はかからない。
 - ・ 総括的評価が最後だけなので、毎時間のチェックは短時間で済む。
 - ・ 児童生徒が書き込む時間については、確かな保証が必要である。
 - OPPA シートに毎時間取り組むことは、児童の主体性を伸ばすことにも繋がった。
 - ・ 自分の学習履歴を確認し、自信をつけたり、次のステップを目指したりする姿が見られた。
 - ・ 自分の学習履歴を言語化することは、メタ認知を行い、自己調整を行うことに繋がっていく。
 - 全児童生徒の取組の様子をリアルタイムで見取れるわけではない「図画工作」や「保健体育」のような実技系教科の評価にも、確かな根拠をもたせることができた。

OPPA ～One Page Portfolio Assessment～ を用いた学習評価

- ② OPPA に取り組むことで、授業改善に繋がる「振り返り」を、教師自身も行うことができた。
- 「児童生徒が何を学んだのか」が可視化されるので、毎時間教師自身も、自分の授業を振り返ることができた。
 - ・こちらが意図した目標が達成されていないことが明確になった場合は、次の時間にすぐに改善を図ることができ、単元の途中でも細かな軌道修正ができる。
 - ①で挙げた毎時間のチェックと併せて行うので、教師の振り返りも短時間で済んだ。
 - ・教師の主観に依らない授業評価を、録画を見直す等の手間をかけずに、毎時間行うことができる。

調査研究の説明

1 主題設定の理由

句読点が無い、
あらすじの説明だけで
2ページ半、自分の感想は「すごかったです」
だけ……
書き直しさせたい
けれど、今日で作文は
終わりだしなあ。

うーん
3ページもかあ。
頑張ったね。
でも、もうちょっと
くわしく書こうか。

先生、「思ったこと」を
ノート3ページ分も書きました！
すごいでしょ？

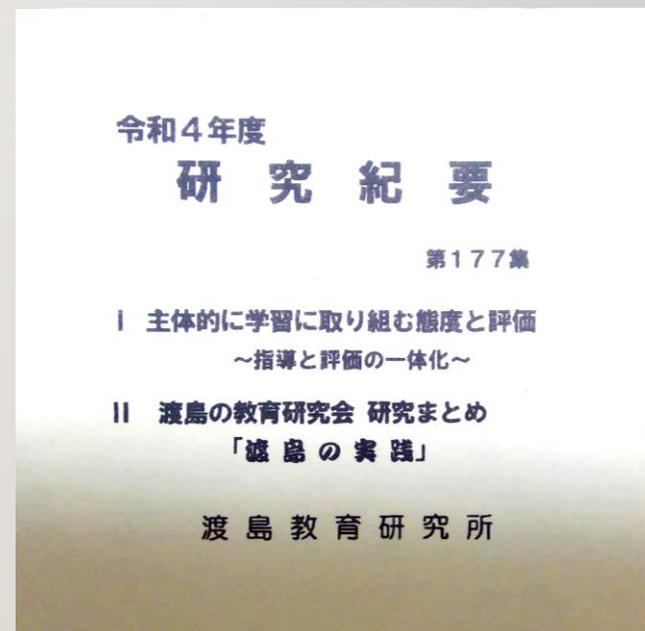
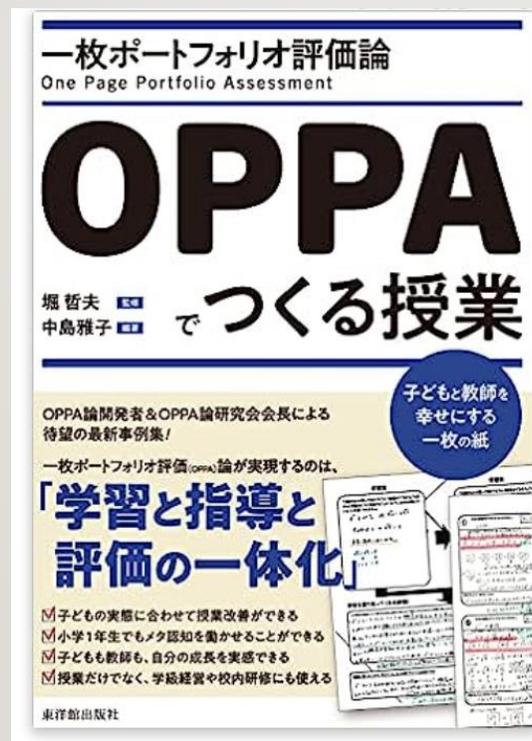
ぼく的には、
くわしく書いたけどなあ。
まあいっぱい
書いたから、
◎だよな！



調査研究の説明

1 主題設定の理由

OPPA ～One Page Portfolio Assessment～ を用いた学習評価



OPPA ～One Page Portfolio Assessment～ を用いた学習評価

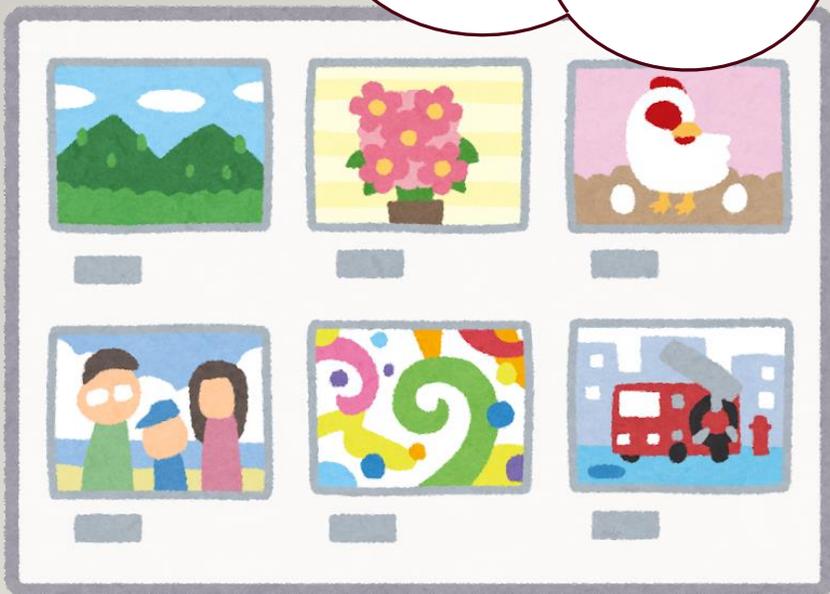
どのような記述が A で、何を書けたら B なのか、評価基準を念頭に置く必要がある。

- OPPA には多くの児童生徒から「主体的に学習に取り組んだ」と読み取れるキーワードが記述されていたが、具体的にどのような評価とするのかについては、検証が深まっていない。
- 学習開始時に単元を貫く問いだけでなく具体的な評価基準を示すことにより、より明確な目標をもたせることができ、OPPA の効果を高めることができるのではないか。

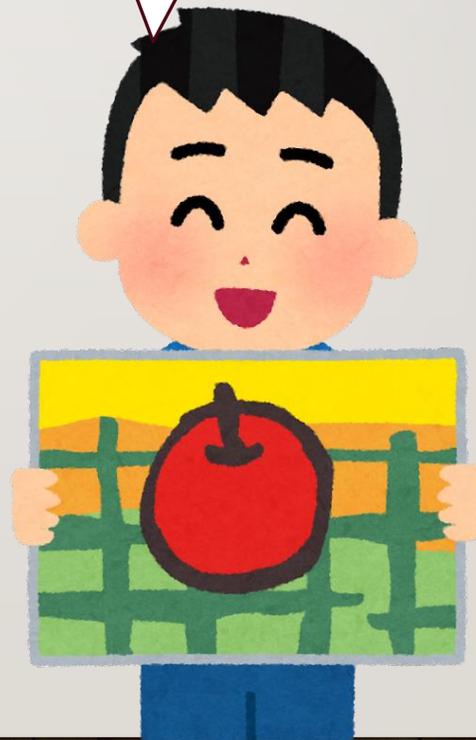
調査研究の説明

1 主題設定の理由

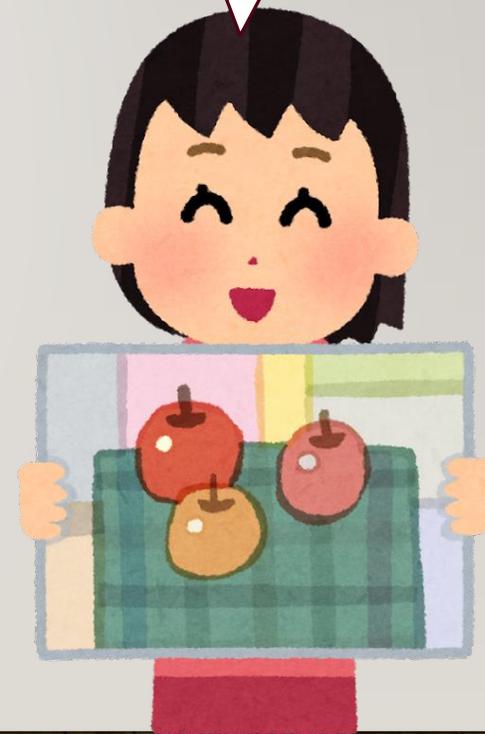
右上はうまいから知技A、
真ん中はそれと比べると
Bかな……
まじめに考えて
頑張っていたし、
思判表を
Aにしてあげようかな



そうか。
ぼくも次は、
たくさん描けば
いいんだね。



わたし、リンゴを
三個描いたから、
先生が◎を
くれた！



- ① 学習目標の達成度を計るための
明確な評価基準を設定すること

- ② ①について，児童生徒と共通理解を
図ること

ルーブリック

【ルーブリックとは】

成功の度合いを示す数値的な尺度あるいは評語と、それぞれの数値や評語にみられる認識や行為の質的特徴を示した記述語からなる評価基準表のこと。

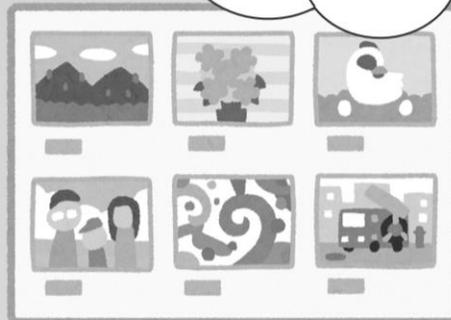
ルーズブリック

何ができたらBで

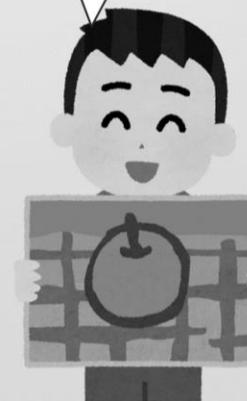
どこを超えたらAなのか

調査研究の説明
1 主題設定の理由

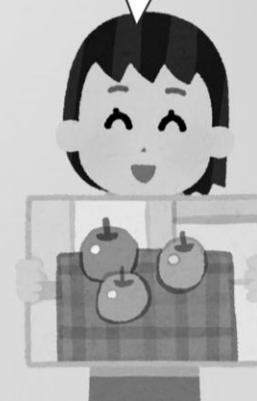
右にはつまり知り知技A
真ん中はそれと比べると
Bかな……
まじめに考えて
頑張っていたし、
思判表を
Aにしてあげようかな



そうか。
ぼくも次は、
たくさん描けば
いいんだね。



わたし、リンゴを
三個描いたから、
先生が◎を
くれた！



日々の授業で目指すのは、形成的な評価の充実

└指導のための評価

→日々の授業は子供達を伸ばすための時間であり、名簿を手に評価データを取りつつ歩く時間になってはいけない。

総括的な評価は、計画的に狙って取りに行く

└記録する評価

→教師にとって過度な負担になっては、続かず、働き方の改善にもつながらない。

研究内容 1

「指導と評価の一体化」を実現するためのルーブリックを活用した授業改善に関する調査・分析

- ・ 「指導と評価の一体化」について
- ・ ルーブリックの概念
- ・ ルーブリックの効果的な活用方法

研究内容 2

研究内容 1 に基づく授業の研究とその改善

- ・ 授業実践
- ・ 検証, 協議
- ・ 成果と課題発信 (渡島ネットワーク及び研究紀要)
- ・ 渡島の実践事例蓄積と共有 (渡島ネットワーク)

調査研究の説明
2 研究の内容と構想

みんなで作ろう!

2022年5月17日版

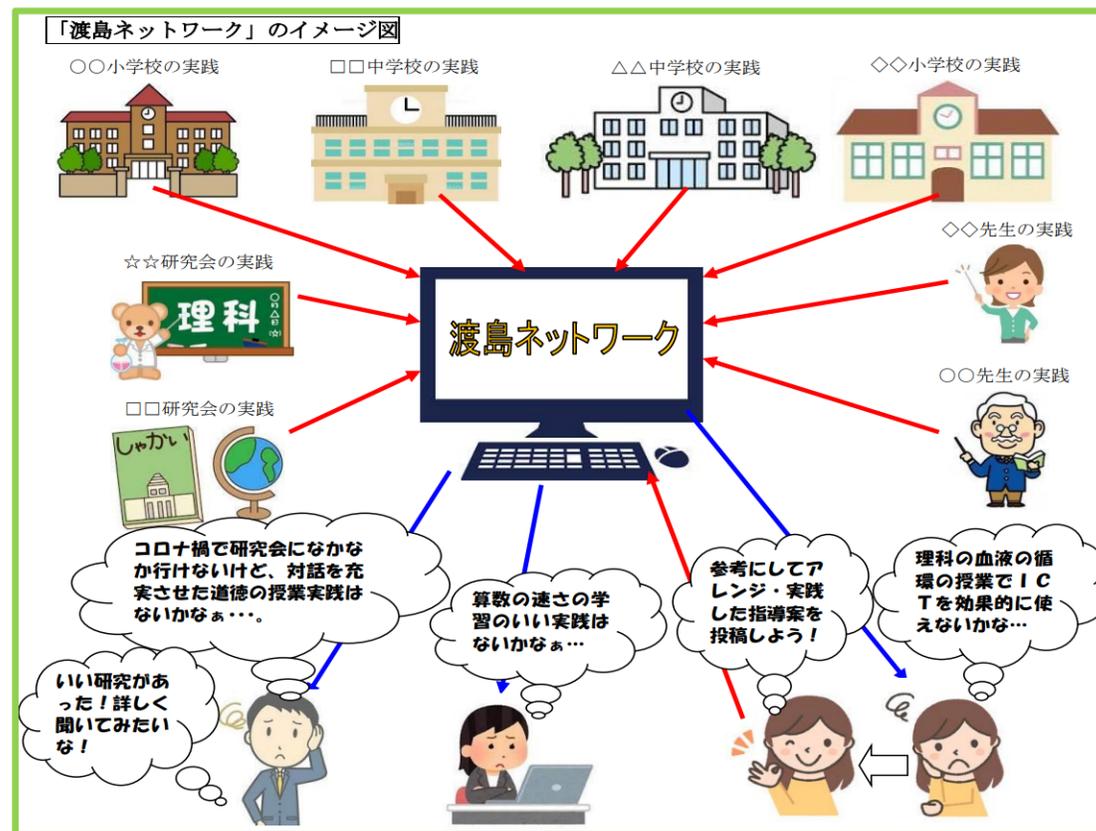
みんなで使おう!

渡島ネットワーク

(指導案データ)

渡島教育研究所では、渡島管内の先生方の指導案や実践された資料などを収集し、それらを渡島管内のたくさんの先生方に活用してもらえるようなネットワーク（渡島ネットワーク）を作っています。

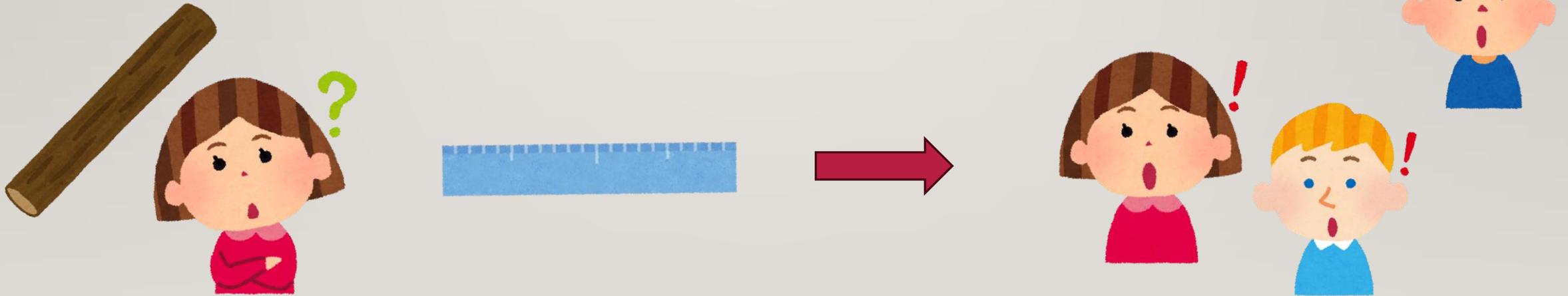
ぜひたくさんの実践を投稿していただき、素晴らしい取り組みを共有財産として活用していきませんか？



ルーブリック

ルーブリックとは評価基準のことである。絶対評価を行うための「ものさし」と考えると分かりやすいだろう。

見える「評価」で授業が変わる！ ～ルーブリックで授業作り～ JUST School 2013



ルーブリック

英語表記=rubric

絶対評価の判断基準表

学習活動	評価規準	A	B	C
○ ……につ いて読み 取る。	……について自 分なりの言葉でま とめることができ	……している。 ……について	……してい る。	……ができて いない。
○ ……に ついて考 えをまと める。	【知技】 ……	……記述している。 ……だけでな く、……について も触れている。		

何ができたならBで
どこを超えたらAなのか

ルーブリック

ルーブリックの例

※小学校第3学年「表と棒グラフ」
(国研資料・事例4)の事例をもとに事務局が作成

2

評価規準 判断基準	記述語 (主体的に学習に取り組む態度)
A 「十分満足できる」状況	【加点するポイント】 <ul style="list-style-type: none">・自分の力で問題を見出して、アンケートを作るなど学習の計画を立てている。・1回の比較・調査で終わらず、さらに調査や追究を進めている。・友達の考えを取り入れて、修正している。・友達によい影響を与える取組をしている。 等
B 「おおむね満足できる」状況	【評価規準】 問題解決に必要なデータを集め、観点を定めて分類整理し、それをグラフに表して見いだしたことを表現しようとしている。
C 「努力を要する」状況	【手立て】 ※B基準に到達していない子 (表現しようとしていない子) <ul style="list-style-type: none">・幾つかの問題から選択できるように選択肢を用意しておく。・過去の作品や見本を示し、完成 (ゴール) をイメージさせる。・児童同士の交流を設けて見通しをもたせる。 等

加点するポイントを複数設定し単元を通して見取る。

B基準に到達していない児童生徒に対する手立てを明示する。

ルーブリック

児童生徒にとって…

- 評価基準が示されることで、主体的に自己評価を行うようになる。
- 何をどのように工夫したり努力したりすれば、良い評価が得られるかが最初から把握できているので、意欲が出る。
- 「客観的に評価されている」という安心感につながる。
- 評価に納得することができる（保護者も）。

ルーブリック

児童生徒にとって…

何ができたらBで

どこを超えたらAなのか 分かる

ルーブリック

児童生徒にとって…

【留意点】

児童生徒と共有したり, 提示したりする評価基準は, 子供の言葉に置き換える必要がある。

研究Point

～児童生徒と一緒につくるルーブリック～

ルーブリック

教師にとって…

- 明確な評価基準の作成により,単元の目標に具体性ができる。
- 支援が必要な児童生徒を見つけやすくなる。
- 総括的評価の場面が明らかになる。
- ペーパーテストのように点数で評価ができないパフォーマンス評価で,迷わなくて済む。

ルーブリック

教師にとって…

何ができたらBで

どこを超えたらAなのか に迷わない

ルーブリック

教師にとって…

【留意点】

より妥当性・信頼性の高い評価を行うために、常に改善や修正が必要であり、同教科・同学年や市町村内で大きな差が無いことが望ましい。

研究Point

～続けられるルーブリック～

ルーブリック

現時点での実践からのレポート

- ① 中学校 数学科 ～渋川所員の実践～
- ② 小学校 体育科 ～菅原所員の実践～